

《担当者名》 沖野久美子、松尾淳司、幸村近、田中真樹、遠藤輝夫、吉田繁、丸川活司、坊垣暁之、小野誠司、近藤啓、江本美穂、高橋祐輔、高橋祐司、山崎智弘、藏満保宏、白鳥亜矢子、鈴木喜一

【概要】

臨地実習前に、今までに学習した臨床検査に関する知識と技術を振り返ることで、その後の臨地実習を円滑に進めて検査業務に対する理解を深めることで、臨床検査技師としての即戦力の涵養に寄与することを期待する。本演習では1) 医用工学概論、情報科学概論、検査機器総論、2) 公衆衛生学、関係法規、医学概論、3) 臨床検査医学総論、臨床医学総論、4) 臨床検査総論、検査管理総論、医動物学、5) 病理組織細胞学、解剖学、病理学、6) 臨床生理学、生理学、7) 臨床化学、生化学、RI技術学、8) 臨床血液学、9) 臨床微生物学、微生物学、10) 臨床免疫学、についての知識と技術を身につけるとともに、臨地実習に対する心構えを再確認する。学科の全教員が担当する。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- (DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
- (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- (DP5) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題の発見と、解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。